

微生物学特論演習 (2単位)

担当者氏名 岡田早苗・高木和広・佐藤英一

◆学習・教育目標

微生物は目に見えない生き物であり、またその生命力は非常に強い。それを使った実験を実施するに当たって、微生物を取り扱う上で、注意しなければならないことがある。また、微生物実験では微生物を培養しその増えた細胞をもとに実験データを構築することが多い。それらの微生物学研究ならではの特質を学ぶ。それらを踏まえたデータ解析と報告、得た情報の理解を正しくできるようにすることを目標としている。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

実験データのまとめ方 微生物実験の特質 微生物保存技術

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	微生物実験を進める上での基本課題と対策 〔第1週～5週〕	つぎの①～⑤について知識を深める。 ①純粋培養の原理と課題 ②単離の原理 ③変異の起こる可能性 ④微生物保存技術の習得 ⑤Contamination 発生の可能性と対策	微生物実験の特質を理解し、自己の実権を進める上で、問題が起こさなような知識を習得する。
2	微生物実験における実験データのまとめ方と報告 〔第6週～10週〕	自己の実験データをパワーポイントにより図表にし、それをもとに人前で自己の研究成果を報告し、質疑応答をする。	セミナー形式により、出席者全員による質疑応答に慣れ、自己の見識をさらに研鑽する。
3	情報の収集と得た情報の報告 〔第11週～15週〕	学会等(講演会やシンポジウム)に参加し、得た情報をまとめることと、その報告および質疑応答をセミナー形式で行う。	自分が得た情報を要領よくまとめ、第三者に要点を伝える訓練となる。

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名/著者/発行所(発行年)
/ / ()

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名/著者/発行所(発行年)
/ / ()

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウエイト)

レポート(20点)と課題(80点)

◆その他受講上の注意事項

自ら進んで発言し、質疑応答に参加する。